

平成29年5月19日

各位

東京都台東区上野1丁目15-3

 会社名 **株式会社 ナガホリ**

 代表者名 代表取締役社長 長堀慶太
 (コード番号 8139 東証第2部)

 問合せ先 常務取締役管理本部長 田端 馨
 (TEL. 03-3832-8266)

平成29年3月期通期業績予想と実績値との差異及び特別損失の計上のお知らせ

当社グループは、平成29年3月期におきまして、平成28年11月11日に公表の平成29年3月期通期業績予想と本日公表の実績値に差がありましたので、また、特別損失を計上しましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1.平成29年3月期通期業績予想との差異

(1)通期連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,250	110	70	△ 103	△ 6.72
今回修正予想(B)	21,539	145	94	△ 51	△ 3.38
増減額(B-A)	289	35	24	52	
増減率(%)	1.3	31.8	34.2	—	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	21,579	△ 72	△ 75	△ 992	△ 64.75

(2)通期個別業績予想と実績値との差異

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,300	70	△ 13	△ 0.84
今回修正予想(B)	13,240	47	△ 52	△ 3.41
増減額(B-A)	△ 60	△ 23	△ 39	
増減率(%)	△ 0.4	△ 32.8	—	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	13,105	△ 284	△ 713	△ 46.51

(3)差異の理由

当上半期の業績が、消費者の節約志向の中、ボリュームゾーンである中間層の消費行動が予想以上に生活防衛型に変化したことから苦戦を強いられ、通期についても依然中間層の消費行動は不透明として通期の連結および個別の業績予想をしておりました。

しかし、当社グループにおきましては、富裕層中心とした販売および地金系商品販売等の安定的な売上貢献があり、さらに不採算店舗の整理・閉鎖の進捗および経費削減による利益率の改善等が進んだことから、連結ベースでの営業利益、経常利益は改善し、通期連結業績予想を上回りました。

個別につきましては、中間層を中心とした従来型卸マーケットを中心とする販売を含め営業総利益率が計画通り確保できず、通期個別業績予想を下回る結果になりました。

2.特別損失の計上について

(1)減損損失 71百万円

宝飾業界を取巻く環境は引続き厳しいものと予想され、収益力強化のため不採算事業の整理縮小の一環として次期店舗閉鎖等に伴う固定資産の減損損失を計上いたしました。

(2)貸倒引当金繰入額 52百万円

取引先の破綻による貸倒引当金繰入額が臨時多額であったため、特別損失として計上したものであります。

以上